

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

いなほ  
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる  
子どもの育成

No.1

令和5年4月10日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

**児童も保護者も教職員も、みんなが幸せになれる学校に**

2～6年生が体育館に揃った着任式・始業式。期待感とやる気をにじませた子供たちはしっかり成長しています。今年度着任した教職員とともに、学校に関わるみんなが幸せになれる学校を目指します。ご協力をよろしくお願いいたします。





## 新設される学級の名称は『4くみ』です！

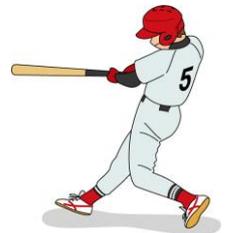
今年度、市川市の小学校3校で自閉症・情緒障がい学級が新設・開級し、平田小学校もその一つです。たんぼぼ学級同様、8名を基準として編制されます。教育課程は通常学級と同じですので、教科書も同じものが給与されます。ただし、実態に応じて「自立活動」（障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導）を加えながら編成します。さらには、児童の実態に応じて通常学級との交流および共同学習を行っていきます。

この学級の名称を昨年度から考えてきました。『○○学級』という呼び方に違和感がある、あるいは差別化を感じるという指摘も耳にすることがありました。通常学級との交流・共同学習をする機会があるので、通常学級との並びの中で名称を考えてほしいという保護者の声もあることから、市川市教育委員会でも来年度には見解が示される見込みです。

こうした背景のもと、本校では『4くみ』（※「組」はひらがな表記）とします。それは、以下の理由および思いを込めて決めました。

- ① 今後の児童数の推移をみても、通常学級が4クラスになる学年はなさそうである。
- ② 「4」は心地よいバランス、安定感のある調和のとれた数字とされる。
- ③ 「4くみ」に集まる児童が合わさって、「幸せ（4合わせ）」になってほしい。
- ④ 「四」は口を開け、歯と舌が見えている状態を表す。「息」「息つく」ことを表すことから、「呼吸」「リラックス」「行き着く」などをイメージできる。
- ⑤ 「くみ」とひらがな表記にした意図は、「組（CLASS）」であるとともに、「人と人が組み合わせる」「力を合わせる」「相手の気持ちを汲み取る」「来る未来 = 来未」の意味を込めている。

「4」は「死」につながるとして、忌み嫌う数字ではありますが、四番バッター、四季、四葉のクローバーなど豊かさや強さを表すイメージもあります。また、守護神としての四天王や守護動物の四神（青龍・白虎・朱雀〈鳳凰〉・玄武〈亀〉）も「四」が使われます。大衆を熱狂の渦に巻き込むオリンピックやワールドカップといったスポーツの祭典も4年に一度の開催です。そんな数字を敢えて使いました。



最初は慣れないかもしれませんが、「4くみ」が当たり前になる日はそう遠くはないはずです。教室は、通級指導教室の斜向かいの旧「測定室」を使用して、学級枠最大の8名（1年：2名、2年：2名、4年2名、5年1名、6年：1名）でスタートしました。私たち教職員も『たんぼぼ学級』同様、『4くみ』についても学び、理解を深めていこうと思います。皆様もぜひ一緒に！



学校徴収金（教材費・学級費・積立金など）は、ゆうちょ銀行の指定口座から毎月引き落とされます。今年度から徴収額を一律ではなく、教材購入額に応じた金額（変動型）にします。これに伴い、引落日の前月20日頃にメールでお知らせします。毎月の引き落とし額内訳は、学年だよりにてご確認ください。

※4・5月分の徴収額のメール配信は4月20日前後、引落日は5月2日(火)です。詳細は、学年だより5月号をご確認ください。